

あづま小学校だより

学校通信

第12号 令和7年10月27日

学校教育目標 よく考える子 思いやりのある子 たくましい子



後期委員会集会が行われました

9月30日(火)に児童集会をリモートで行いました。充実した委員会活動を目指して今後の活動を8つの委員会の委員長が発表しました。図書委員会のイベント企画、放送委員会の「あづボックス～みんなのいいところ発表～」など、それぞれの委員会の活動内容を知ることができました。学校は1日の長い時間過ごす場所ですから、児童のみんなが楽しめる場所にしたいです。これからも、委員会でいろいろなアイデアを出し合ってあづま小をどんどん魅力的な学校にしてくれたら大変うれしいです。



1年生が校外学習に行ってきました

10月7日(火)1年生が桐生が岡公園に校外学習に行ってきました。各クラス5つの班に分かれ、午前中に動物園、午後は遊園地で遊びました。動物園では班で協力してクイズに答えな



がら活動しました。遊園地では500円分施設利用しました。班活動に慣れていないからか、はぐれてしまう児童もいましたが、午後になるとまとまって活動できる班が増えました。過ごしやすい天候で、大きな怪我や体調不良者もなく元気に活動することができました。班活動する中で協力する大切さを学んだり、子ども同士のきずなを深めたりしたようでした。



市陸上記録会が行われました

10月9日(木)伊勢崎市陸上競技場において陸上教室記録会が行われました。暑い中、43名の児童が参加しました。どの種目も全員が最後まで全力を出し切り、真剣に競技している姿がとても印象的でした。結果として8名の選手と学校代表4×100mリレーで男女とも入賞することができました。そのうちの個人種目で4名が、団体として男子4×100mリレー1チームが県大会への出場を決めました。10月28日(火)敷島陸上競技場で行われる群馬県陸上教室記録会に市の代表選手として参加します。そこでの活躍も期待しています。

今回の多くの児童が市陸上記録会参加に向けて挑戦してくれました。選考にもれ参加がかなわなかった児童も含め、一つの目標に向けて頑張ってきたことは、今後の学校生活を送る上で大きな糧となることでしょう。自信を持って、明日からも頑張って欲しいと思います



全力で一生懸命 あづま小運動会

10月18日(土)にあづま小運動会が行われました。運動会日和の中、徒競走や表現、代表リレー等を行いました。今年の運動会スローガンは、「最高をこえた秋の思い出をとどけよう！倍倍ファイト！」です。徒競走やリレーでは、ハラハラしたり息をのんだり白熱した走りを見せてくれました。みんな自分の力を精一杯発揮してあきらめずに走りきりました。大変素晴らしいと思いました。表現では、1・

2年生は
かわい
く、3・4
年生は美
しく、5・6
年生は力



全力で一生懸命。最後まで力を出し切りました。



5・6年生の表現の最後の一瞬。やりきりました。

強く、それぞれの学年に応じた動きを見せてくださいました。動きを覚えるのは大変だったと思いますが、たくさん練習して当日はその成果を十分発揮してくれました。あづま小の子どもたちが、全力で一生懸命に競い合いみんな笑顔になりました。

火災対応避難訓練を行いました

10月24日(金)に火災対応避難訓練が行われました。事前に実施時間を児童に知らせずより現実的な訓練にしました。訓練後の校長講話の中で下のような内容を話しました。

学校で火事が起きたときどう行動するかはとても大事です。先生が近くにいる場合は、今日の訓練のように校庭に避難しましょう。だた、休み時間中など先生がいないときに起こる場合も考えられます。想像してみましょう。トイレ掃除中に突然火災報知器が鳴り出しどこからか煙が漂ってきました。息苦しくもなってきました。先生は近くにいないようです。そのときどう行動をしたら良いのでしょうか。

(考えられる行動)

放送を待つ。校庭に逃げる。先生を探す。自分の教室に戻る。ほかの人を見て同じ行動をする。

東日本大震災でそれまでにない大きな揺れが起ったとき、驚いてしまいとっさに机の下に潜った人が少なかったように、急にその場で考えることは難しいと思います。例えば、学校からの帰り道の真ん中辺りで大きな地震が起きて建物が崩れ火事も起きています。このとき考えられる行動はどんなことが考えられますか。

(考えられる行動)

学校に戻る。家に帰る。近くの大人に助けを求める。避難場所に行く。

4つあげましたが、どう行動するか考えつかない人もいると思います。そういうときどうするか事前に家族と話し合って決めておくことが大事なのです。先ほどの質問の火災報知器が鳴り出した場合ですが、火事が起きた場所を放送等で確認したうえで行動することが大切です。校庭に避難するのが基本ですが、燃えている場所を離れて避難する経路を自分で選ぶのです。実は避難は自己判断が大切です。先生がいれば、その指示で避難すればよいですが、いない場合は自分で判断しましょう。どうすることが一番安全なのか、日頃から考えておくことが大切ですね。



上の2つめの質問は、防災講演会で講師の先生からあった質問でした。5・6年生と保護者への質問だったのですが、「避難場所に行く」は、そもそも避難所がどこか知らない児童がたくさんいました。大地震で連絡手段が途絶えても家族と落ち合えるのか心配になりました。やはり日頃から災害があった場合はどうするか家族でよく話し合って決めておくことが大事だと思います。